

第18回太田川河川整備懇談会 議事要旨

- 新規ダム整備に向けた調査などの取り組みについて、懸念を持っている住民に対して理解をいただけるよう、引き続き、丁寧な説明を行うこと。
- 環境への影響について、既設ダムの例も含めて十分な科学的データを蓄積していくことと、その公表と地域住民への丁寧な説明をお願いします。
- 新規ダム整備について、治水・利水・環境を考えた最善の技術を検討していくこと。例えば、治水効果に対して環境の消失などの影響を比較するのみでなく、新たな環境の創出（例えば、灰塚ダムのウェットランドなど）などの検討を合わせて行うことをお願いします。
- 受益地となる市街地の住民への地道な啓発活動を継続してをお願いします。
- 社会情勢の変化に伴う、整備方針の妥当性について、適宜点検、検討を行うことをお願いします。
- 流域治水の観点でも、流域一帯となったあらゆる関係者での対応を引き続き進められたい。
- 太田川水系河川整備計画（変更案）については了承する。